

# 【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： BRST-132

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
乳がん (HER2陽性)	TCH療法	21日間	6コース+α	<input type="checkbox"/> 進行/再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高/中	N Engl J Med 365: 1273-83, 2011

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	トラスツズマブ 生理食塩液	4mg/kg 250mL	点滴静注	初回のみ 90分																					
	トラスツズマブ 生理食塩液	2mg/kg 100mL		2回目～ 30分	↓							↓						↓							
②	デキサート アロキシ 生理食塩液	9.9mg 0.75mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	ドセタキセル 生理食塩液	75mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	60分	↓																				
④	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 6 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
＜最大6コース施行後、以下を計1年間＞																									
⑥	トラスツズマブ 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴静注	30分	↓																				

## ＜注意事項/備考＞

- ✓ 【投与期間】最大6コース施行し、その後はトラスツズマブ単剤（6mg/kg、2週間ごと）を計1年間実施
- ✓ HER：初回8mg/kgを90分かけて投与、2回目以降は6mg/kgを30分かけて投与
- ✓ 浮腫（DTX）：総投与量350-400mg/m<sup>2</sup>以上で頻度上昇。足のむくみなどの症状に注意、予防のためのDEX内服も検討
- ✓ 心障害：投与中は心エコー等を用いて心機能評価を
- ✓ インフュージョンリアクション：悪寒、発熱、呼吸困難など。状況に応じて抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛薬などの投与を検討
- ✓ CBDCA：投与回数を重ねると、ショック、アナフィラキシー様症状の発現頻度が高くなる傾向（8コース前後）